

特集「道徳学習でのチームティーチングによる命の授業」

—福井市立本郷小学校2年生—

はじめに

今年度、学校飼育動物事業の趣旨に共感し、本校でもぜひ子どもたちと動物を出会わせ、育て育てられる貴重な経験をもちたいと考えた。動物ふれあい授業を経て、モルモットを迎えてから19日目、動物の専門家である獣医さん（大門由美子先生）の体験もふくめたお話をさせていただくことで、モルモットを大切に飼育していきたいという気持ちを育みたい、その願いからゲストティチャーとしてお招きし、授業を行った。

- 1 主題名 あたらしい命 3—（1）生命尊重 4—（3）家族愛
- 2 資料名 モルモットの赤ちゃん
- 3 ねらい 生命の大切さに気づき、生き物を大切にしようとする心情を育てる。
- 4 本時の展開 実施 平成26年11月10日（月）

過程	学 習 活 動	教師の支援（○）と評価（◎）	
		T1	T2
導 入	1 ゲストティチャーに挨拶をし、話を聞く。 2 世話をしているモルモットの誕生日から2カ月たったことを知り、モルモットの赤ちゃんのころの様子に関心をもつ。	○獣医さんの紹介 ○カレンダーで確認する。	○挨拶
	モルモットの赤ちゃんは、どのように大きくなっていくのかな。		
展	3 モルモットの成長の様子を見て、気づいたことや思ったことを話し合う。（映像や写真） ○生まれたばかりの赤ちゃん（30分後）	○映像や写真を見ることで関心を高めるようにする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小さいな。・目があいている。 ・5ひきもいる、色やもようもちがうね。 ・赤いのは血かな、なんであるの。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> お母さんはたいへんなんだね。 </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>◀ 生後 30分</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・はっぱやピーマンがある。 ・お母さんのおちちをのむんじゃないの。 ・もう食べられるんだ。 </div>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>◀ 生後30分</p> </div> </div> <p>○実際の大きさ4センチ、50グラムの大きさを絵で示す。</p> <p>○生まれた時の大きさ、出血のわけ（出産の恐怖感を与えない範囲で）について説明する。</p> <p>○胎盤でお母さんの体から栄養を送っていることを知らせる。</p> <p>○お乳のほかに草、野菜をもりもり食べることで、自分で生きていくためであることを知らせる。</p>	

開

○生まれたばかりの赤ちゃん（2日後）はどんな様子かを見る。（映像）

- ・みんなかたまっている、こわいのかな.
- ・おかあさんの後をついて行っているよ.
- ・お母さんもあるきまわっているね.
- ・グググってないてるね.
- ・お母さんのお腹の下にもぐったよ.
- ・みんなが入ろうとして、お母さんはたいへんだね.

○お母さんのお腹の下にみんな入ったところで、静止画にする.



○ないているのはお母さんで、危険を知らせていること子どもたちはかくれようとしていること（訓練）を知らせる.

◀ 生後2日

○生後14日たった赤ちゃんはどんな様子かを見る。（映像）

- ・大きくなった.
- ・みんな、くつつこうとしているね.
- ・お母さんのおなかの下にもぐろうとしているけど、入りきれないよ.
- ・かわいいな.

○お母さんのお腹の下に入り込んでいるところで静止画にする.

○8センチの大きさのモルモットの絵を見せる.

○体長が8センチになったこと、同じ兄弟でも体の模様が違う不思議さを話す.

○お母さんはどんな気持ちでお世わをしているか考えて話す.

- ・元気に育ってほしい.
- ・早く大きくなってほしい.
- ・大事な宝物だよ、守ってあげるよ.
- ・やさしくしてあげよう.
- ・てきから、まもってあげるよ.



展

○14日間で、こんなに大きくなった赤ちゃんに何て言ってあげたいか、考えて話す.

- ・大きくなってよかったね.
- ・これからも元気に育ってね.
- ・もっともっと大きくなってね.
- ・たった14日で、こんなに大きくなるなんてすごいね.
- ・お母さんがいっしょうけんめいお世話したんだね.

◎誕生と成長の様子から、生命の不思議さやすばらしさを感じることができたか。（発言）

▲ゲストティチャーからお話を聞く.

開

4 ふうちゃんのことについて、獣医さんからお話を聞く.

○ふうちゃんがここに来るまでの話と獣医さんの願いを話すことで、大事に育てたいと思う気持ちを育む.

終末	<p>5 今日の学習の感想を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが大事にしていることがわかった。 ・赤ちゃんは小さいけどがんばっているんだね。 </div> <p>ワークシートに書く。(6 児童の感想※)</p>	<p>◎お母さんの愛情と赤ちゃんの生命力を感じ、生き物の命を大切に思う気持ちをもてたか。(ワークシート)</p>
----	---	--

5 反省

自分たちが世話しているのと同じモルモットの赤ちゃんの様子を、映像資料と専門的な知識をもっておられる獣医さんの、ねらいにそった適切な興味深い話で聞かせていただくことで、とても関心をもって考えることができた。終末のふうちゃんが本郷にくるまでの物語(家族と離れてひとりぼっちで来た。みんながお兄さん、お姉さんになってほしい。)は子どもたちの心に深く響き、自分達が大事にしてあげなければいけないと強く感じたようだ。

映像資料は、ねらいに迫るため、そこから何を見つけ、深めていくか考えることのできるものだった。

授業後、「ふうちゃんニュース」ということで、ふうちゃんが本郷にくるまでのお話で知ったこと、伝えたいことを子ども達が書き掲示した。

6 児童の感想(男子5名・女子3名の学級)※

<p>モルモットはにんげんと同じうむときは、つらいと思っとうむですね。生まれたばかりで4センチなんて、とてもちっこいなと思いました。10日い上になったら、ひなんくんれんのれんしゅうみたいにひっついてた。ふうちゃんへ、家ぞくとはなれてざんねんだね。そのかわりに本郷の2年生がお世話をしてあげる。</p>
<p>ふうちゃんが、きょうだいとわかれてさみしいなと思いました。おかあさんからはなれてかなしい。ふうちゃんがおつきくなってよかったです。かわいいし、きれいだったので、ふうちゃんをつけました。</p>
<p>モルモットの赤ちゃんは、そんなに自分でがんばっているなんて知りませんでした。だからびっくりしました。うまれたときから、お母さんと同じえさをたべてることも知りました。くんれんをしていて、すごいとおもいました。ふうちゃんは、かぞくみんなとおわかれしたので、かわいそうでした。ふうちゃんは、みんなのなかまいり。これからチモシーとお水をあげたりして、ふうちゃんをおとなにしたいです。</p>
<p>ふうちゃんがひとりぼっちになっちゃったから、これからもっと、ふうちゃんを元気に育ててあげたいと思いました。ふうちゃんがはなればなれになって、かわいそうでした。おかあさんについては、小さい赤ちゃんを何びきもまもってすごいつて思いました。</p>
<p>ずっとかくれているなんて、はじめて知りました。ふうちゃんがぜつめつしないよう、えさをあげたり、ストレスになったりしないように大声を出したりしないで、学校生活をしたいです。みんなにも、大声を出していたら、「大声をだしちゃだめだよ。」といたたいです。</p>
<p>ふうちゃんが三人もきょうだいがいるなんてはじめて知りました。モルモットはたべられてしまう生きものとは思っていませんでした。</p>

生まれて2日たったけなのに、かくれられたからすごいなと思いました。たいばんは赤ちゃんのもとになるなんてはじめて知りました。

赤ちゃんのころから、てきにおそわれないように、れんしゅうをするからすごいなと思いました。赤ちゃんのころから、おちちものむし、草とやさいとチモシーもたべるなんて知りませんでした。ふうちゃんのおかあさんとはなれて、ふうちゃんもおかあさんとはなればなれだからさみしそう。ふうちゃんは、みんなのなかまいりをしたよ。これから、みんなでおせわをしてあげたり、水をあげたりするから、いっしょになかよくしようね。

赤ちゃんが生まれて、30分たってもちがあるとはびっくりしました。たいばんがおかあさんにあるとは、知りませんでした。

7 現在の様子

ふうちゃんの世話をするために、しゃべらないでさっさと朝の用意をすまそうと意識をもっている児童は半数だが、みんな喜々として世話をしている。「ふうちゃんはこわがりなので、ストレスをあたえないよう、大声を出さないようにしよう」というのは、どの子も思っているらしく、特に大声を出しがちな子が、大声を出さないように、がまんをしようとしている様子がみられる。1日の中で「今なにをしているのかな。」とのぞいてみるようになり、飲み水にウンチが何個も浮いているのを見つけると、進んで水を換えにいく子も増えてきた。飲み水をこぼして、床がべたべたになっていることもあり、「気持ち悪いだらう」と掃除をしてくれる児童もいる。自分のことで精一杯の2年生でもあるが、小さな生き物への思いやりが感じられる。

ふうちゃん新聞も3号になり、日一日とつながりは深まっているようだ。



▲ふうちゃんの様子を見ながら
ふうちゃんと遊んでいる。



▲ふうちゃん新聞3号 (12月)

(福井市立本郷小学校 伊藤三千代)